

レストラン船「銀河」によるさくらクルーズ(その 1)

事務局長 池田良穂

瀬戸内海汽船のレストラン船「銀河」が、毎日のランチクルーズやディナークルーズだけでなく、朝から夕方までのワンデイクルーズを時々実施していることを会員からの情報で知り、さっそく、4月6日の「さくらクルーズ」を申し込みました。今年の1月のことです。

しかし、3月になると気温が急上昇して、桜は例年よりずいぶん早くなり、さらに出港数日前の天気予報によると、クルーズ当日の6日だけが雨予報で、しかも寒冷前線がちょうど昼頃には広島周辺を通過しそうとのこと。桜も終わり、かつ雨の中で、いったいどのようなクルーズになるのか興味津々で広島入りをしました。

クルーズは9時過ぎに出港とのことでしたので前泊することにして、宿は、元宇品の南端にあるグランドプリンスホテルにとりました。ずいぶん前に卒業生の結婚式に出席して以来です。ちょっと部屋代は高いですが、部屋から広島港が見下ろせるので、海側の部屋を指定して予約しました。

ホテルの部屋は東向きで、正面に金輪島が見え、その左側にはマツダの車の積出港が見えてPCCが出入りしていました。また、左手の奥にある元宇品の市営桟橋から金輪島、似島へのフェリーも見えました。広島の離島航路フェリーの乗り場は、すべて宇品に集約されていると思いこんでおり、ここに市営桟橋があることを初めて知りました。宇品のフェリーターミナルは県営で、市営がべつにあるのです。

この市営桟橋からは、(有)金輪島会が高速船「ライナⅡ」で金輪島航路を、(有)バンカー・サプライが高速船「なぎさ」と「少年丸」で似島航路のサービスを行っています、また、金輪島には新来島どっく系の造船工場(元金輪船渠)があり、この新来島宇品どっくがフェリー「第5こふじ」を自社専用船として運航しています。

銀河のクルーズは次号でご紹介します。



金輪島会が運航する「ライナⅡ」。宇品市営桟橋と金輪島の間を10分で結んでいます。



バンカー・サプライが宇品市営桟橋と似島を結ぶ航路に就航させている高速船「なぎさ」。16 総トン、旅客定員 60 名。



バンカー・サプライが似島航路に投入している「少年丸」(19 総トン)。船名表示には「第 5 けいりん丸」という名も並んでいます。



新来島宇品どっくが運航する社内専用フェリー「第 5 こふじ」。似島汽船の中古フェリーを買って運航しているとのことです。



マツダの積出埠頭に入港する PCC 「トリトン・エース」。



マツダの積出埠頭に向かう内航 PCC 「光洋丸」。



マツダの積出埠頭から出港する PCC 「第三東洋丸」。後ろには広島名物の牡蠣イカダがたくさん浮かんでいます。



瀬戸内海汽船の高速船「おやしお」もホテルの岸壁に入ってきたました。ホテル桟橋から宮島航路等が頻度は少ないですが運航されています。



夜、ディナークルーズで回遊する「銀河」がホテルの前を通りました。明朝は、いよいよ、「銀河」に乗船です。

*:写真はすべてホテルの窓から撮影したものです。